

## 今後の展開

今後、高齢者の増加に伴い認知症の方も増加していきます。認知症になってもできるだけ住み慣れた地域で暮らしていけるよう、ますます地域ぐるみで見守れる体制を強化する必要があります。見守りネットワークのそれぞれの登録者数を見て分かるようにまだまだ周知活動が足りないことが分かります。今後は、多世代の方への周知活動を中心に取り組みを行います。

### 周知活動

多世代の方への周知活動として、各地域で認知症や施策についての説明を積極的に実施するとともに、小学生や中学生等学生を対象に認知症サポーター養成講座も継続して実施します。

本市でも様々な認知症に関する講座等を実施していますが、より認知症の方の気持ちを身近に感じてもらえるようなツールを発行予定です。

#### 【わたしノート「あしあと」の発行】

高齢者向けに認知症サポーター養成講座や施策説明等を行うときに利用する『わたしノート「あしあと」』を平成29年3月に発行予定です。

「あしあと」は基本情報編と健康づくり編で構成されており、基本情報編では自分のプロフィールだけでなく覚え書きとしてこれまでの自分史や好きなもの、趣味等を記載する欄を設けています。この基本情報編を記載することで、病気や認知症によって、自分の生活歴や思いなどを相手に伝えることができなくなった時に、家族や支援者の方へ伝える手段として使っていただくことができます。

また、認知症が進行すると、このノートにあるような基本的な質問であっても、大切な記憶が思い出せなかったり、自分の思いが伝えにくくなったりします。ノートの作成を通じて、そんな認知症の方の気持ちに寄り添うことの



大切さを感じていただくこともひとつの大きな目的です。

### 【大切な人ノートの発行】

小学生や中学生に認知症サポーター養成講座等を行うときに利用する『大切な人ノート』を平成29年3月に発行予定です。

『大切な人ノート』は、手に取った本人が自分のおじいちゃんやおばあちゃんから基本情報を聞き取ったり、思い出を聞き取りした内容を記載するノートです。

このノートを利用し、おじいちゃんやおばあちゃんの思い出に触れていただき自分の大切な人であると感じていただくとともに、認知症になるとこんなことがうまく伝えられなくなることを理解していただきたいと考えています。



### Bluetooth 機能拡大

導入したBluetooth タグと専用アプリをインストールしたスマートフォンは、紐づけることができ、固定のBluetooth タグの管理者になることが可能です。現在は、市のみで管理していますが、支援者である家族が管理者となることにより、家族のスマートフォンでBluetooth タグの電波が感知できなくなったときにスマートフォンに通知される機能や固定受信器等で感知され蓄積された情報を閲覧できる機能があるため、今後希望される家族に管理者資格を付与するよう検討を行っています。

この機能を利用すれば、一緒に外出された先でも早い段階でそばにいられないことが分かり遠くへ行かれる前に探し始めることができます。

また、管理者として登録したスマートフォンを玄関先等に設置されることで外出されたことが直ぐに分かります。

